

「生き方探求・チャレンジ体験」に参加して

本学図書館では、平成23年5月23日（月）から27日（金）にかけて中学生が社会体験活動に取り組む「生き方探求・チャレンジ体験」に協力し、中学生8名を受け入れました（詳細は11頁に記載）。これは、その中学生の体験記です。

なお、この活動は新聞でも紹介されました。



「図書館の仕事を体験して」



チャレンジ体験を通して、仕事がいかに大変か実感しました。でも、それより強く感じたのは人と人とのつながりです。わかりやすく教えてくれる職場の方、大変な時支えてくれる友達、下手な説明でも笑顔で聞いてくれる大学生の人たちなど、沢山の人のつながりが感じられとても良い経験になりました。

(A. U.)

最初、僕は大学の図書館は広いだろうなと思っていたけれど、この図書館は僕の想像をはるかにこえる大きさだったのでびっくりしました。僕はこの体験を通して、仕事のきびしさや仕事のやりがいなどを学ばせてもらってとても大切な5日間でした。また時間があれば来たいです。

(T. U.)

チャレンジ体験で図書館のイメージが変わりました。はじめ、図書館は本の貸し借りだけの場所だと思っていました。だから体験する職場が図書館だと聞いて、仕事内容は受付と本の出し入れぐらいかなと思っていました。けれども仕事内容の説明をしてもらってすることがたくさんあることにびっくりしました。大学と大学での本の貸し借りや、データ作り、本や雑誌の受け入れなどです。他に思い出作りとして、「ファンタスティックな童話の世界」というテーマで展示会を開かせてもらいました。貴重な本を実際にさわらせてもらったり、本の説明を大学生の人たちに聞いてもらったり、とてもやりがいのある仕事でした。このことを将来にいかせれば良いなと思っています。

(Y. T.)